

神大法曹会の人々

富山発、新人弁護士奮闘記

弁護士 廣野 聡さん
 (富山県弁護士会 澤田法律事務所)
 (神大ロー2期既修コース出身 新62期)

「西田地方」。

これを「にしでんじがた」と読むことが出来る人は相当な富山フリークである。

今回の神大法曹会の人々は、富山県富山市西田地方町で弁護士をしている廣野聡さんに弁護士として地方で仕事をする魅力と苦勞について語っていただこうと思う。

(聞き手：飯田学史 (新61期)
 横浜弁護士会 神大ロー1期既修)

飯田 お久しぶりです。突然、呼び出してすいません。

廣野 本当に突然でびっくりしました。で、なぜ飯田さんが富山にいるんですか？

飯田 実は遺留分減殺請求の訴訟が富山地裁でありまして、仕方なしに富山まで来たのです。

廣野 仕方なしって……。

飯田 ところで、後ろにいるお方は、どなたさまでしょうか？

廣野 電話で富山の弁護士事情について聞きたいと言われたので、事務所の先輩弁護士にも来てもらいました。木下弁護士です。

木下 60期の木下実です。初めまして。

飯田 それはそれはわざわざお越しいただきまして、ありがとうございます。木下先生は廣野さんの兄弁になられるのですか？

木下 そうです。廣野さんが勤務している澤田法律事務所には澤田、木下、廣野と弁護士が3名おりまして、私は廣野先生の兄弁にあたり

ます。ちなみに事務局は4人おります。

飯田 澤田先生って、以前富山で開催された日弁連の人権大会の委員長をされた大先生ですよ？

廣野 そうですけど、飯田さん、なんでそんなこと知っているのですか？

飯田 待ち合わせまで少し時間があつたので、コーヒーを飲みながら富山県弁護士会のHPを見ていたのですが、そこに載っていました。



(写真、左側廣野聡さん、右側木下実弁護士。富山地裁前にて撮影)

【富山県の弁護士事情】

飯田 早速ですが、富山県弁護士会のHPには所属弁護士の名簿一覧というのが出ていました。現在、富山県弁護士会に所属している弁護士の人数は何名なのですか？

木下 2010年4月1日今日現在で81名です。

飯田 81名!! 81名で富山県内全域をカバーしているのですよね。当番弁護活動や被疑者国選はどうしているのですか？ 大変じゃないですか??

木下 大変ですね。当番弁護はだいたい月に

1.5回程度の割合で回って来ます。もちろん被疑者国選も被告人国選も順番で回ってきます。

飯田 廣野さんも当番弁護士を経験したの??

廣野 いや、実は今日が初めての当番弁護士担当日なのです。なにも連絡がないといいのですけれど……。

木下 そういう時ほど、事件が来たりするんだよね。

飯田 そうそう、せっかくだからとびきり難しい事件が回ってくるといいね。裁判員対象事件とか。

廣野 縁起でもないこと言わないで下さいよ。裁判員といえば、木下先生は富山県内の裁判員裁判事件第1号を担当されたんですよ。

飯田 そうだったのですか。やはり第1号事件は大変でしたか?

木下 事案は殺人既遂事件だったのですが、やはり県内で最初の裁判員裁判ということもあって、事件の処理もさることながらマスコミ対応が大変でした。富山県といのは普段は穏やかで重大刑事事件はあまりないのですけれど、これが殺人事件で、しかも裁判員裁判第1号でしたので、マスコミが殺到して本当に苦労しました。

飯田 私も現在、起訴されれば裁判員裁判対象になる殺人未遂事件を抱えているのですけれど、裁判員事件って独特の緊張感がありますよね。

木下 そうなのですか、私ももう1件、殺人未遂事件を抱えているんです。

【新人弁護士廣野先生のお仕事】

飯田 そうですか、お互いがんばりましょうね。ところで、廣野さんは今どういう事件を担当しているのですか?

廣野 事件数は20件から30件くらいです。まだ弁護士になって数ヶ月なので、自分が主任として担当しているのは被告人国選ぐらいです。それ以外は澤田先生の事件や木下先生の事件をお手伝いさせてもらっています。

飯田 へー、20～30件なんだ。それは忙しいですね。事件としてはどういう分野が多いの?

廣野 特にコレという分野はないですけど、今まで経験したのは、交通事故とか、離婚と離縁とか色々です。

飯田 事務所として何か特徴はあるのですか?

木下 事務所の色は特にないですね。一般民事から家事、刑事事件まで何でもやっていますよ。

飯田 じゃあ廣野さんも何でもやる弁護士になるのですね。ところで、事件のお手伝いって具体的にはどういうことをしているの?

廣野 主に起案ですね。それと電話で交渉したり。

飯田 電話で交渉かぁ、難しい仕事もしているんだね。電話での交渉って大変でしょ。

廣野 そうでもないですよ、まず、木下先生にどういうふうに話をしたらよいかを聞いて、それを相手方に伝えて。それで相手がこういう風に言って来たら、こう答えるということをも木下先生に聞いて、それを答えて。

飯田 それって、結局、木下先生の使者ってことね。

木下 (笑い) 廣野先生はまだ弁護士になって間もないので、ある程度細かく指示を出して仕事をお願いしています。そのうち、経験を積んで独り立ち出来るようになると思いますよ。

飯田 廣野さん、木下先生はそう仰っているけど、大丈夫??

廣野 大丈夫ですよ。たぶん……。

飯田 今回のテーマは地方で仕事をする魅力と苦労なんだけど、魅力と苦労って言われたら何って答える??

廣野 まだ弁護士になって数ヶ月、今お世話になっている澤田法律事務所に入って2ヶ月なので、地方で弁護士というより、まずは弁護士をしていることに精一杯でして……。

飯田 じゃあ、魅力というよりも、苦労の方が多いわけだね。

木下 弁護士としての魅力とか、楽しさが判ってくるのは、自分で事件を受けてそれを自分の判断で解決出来て初めて感じるものだと思います。そういう点でいうと、廣野先生は、まだ弁護士歴数ヶ月ですから楽しさを感じるまでもう少し経験が必要でしょうね。

飯田 じゃあ、苦労は？ 何が一番大変??

廣野 裁判所などでの手続きがよくわからないことが一番苦勞しますね。細かい事務手続き、例えば出廷したときに出廷カードの名前を書いてことも、みんな当たり前に行っているけど、ローでも修習でもやらなかったの、最初はどうしたら良いのか判らなくて苦勞しました。

飯田 でも、弁護士の数も少なく、たぶん裁判所との距離も近いだろうから判らないことはその都度、聞けばいいんじゃない。きっと廣野さんが新人弁護士っていうのは、裁判所も弁護士会もみんな知っていることだろうし、恥ずかしがることはないよね。

木下 これは小規模の弁護士会の魅力でもあるのですけれど、みんなお互いの素性を知っているんです。なんといっても全員で81名しかいませんし。弁護士の性格はもちろん、事務員さんの家族についても大抵知っています。顔が見える人と事件が出来るというのは地方の小規模弁護士会の魅力でしょうね。もちろん、それが苦勞になることもあるのですけれど。

飯田 他に地方の小規模会としての苦勞ってありますか？

木下 まず弁護士会費が大規模会に比べて高いですね。富山県弁護士会の会費だけで月額5万円です。それに日弁連会費も加わるので、毎月会費だけで7万円近い出費があります。

飯田 弁護士会の会務(委員会活動)はどうですか？ これも負担が大きいのでしょうか？

廣野 私は、消費者委員会、子どもの権利委員会、司法修習委員会に所属しています。

飯田 1年目で委員会が3つっていうのは、大変だね？ ところで廣野さんって子どもの権利に興味があったんでしたっけ？

木下 富山県弁護士会では1年目から一人最低3つの委員会を割り振られるのです。一応、希望を言うことが出来るのですけれど、基本的には新人は弁護士会が委員会を割り当てます。ちなみに私は、刑事と人権擁護、ADRの委員会に所属しています。

飯田 弁護士会で新人弁護士向けの研修などは実施しているのですか？

木下 富山県弁護士会としては無いです。ですから基本的には新人研修はOJTですね。

飯田 廣野さんはもともと富山県出身で、Iターンで富山に戻ったけれど、地方の就職活動ってどうなんですか？ 比較的楽なイメージがあるのだけれど？

廣野 いや、とんでもないです。地方も就職活動は厳しいですよ。そもそも採用がないのです。富山県弁護士会には私と同じ期の弁護士が9名いますが、今後毎年同じだけの数が就職できるかと言われれば厳しいでしょうね。

木下 弁護士の数は全体として少ないので、仕事はあるのでしょうか、いざ就職しようとしても、そもそも富山県内の法律事務所の数が少ないので就職活動は大変みたいですよ。

飯田 そうですか。地方会も就職は大変なのです。最後に、廣野さんの今後の抱負について聞かせて下さい。

廣野 経験を積んで、いずれは独立したいです。特にこういう種類の事件をやりたいという希望はないのですけれど、ひとつひとつの事件を丁寧に処理することが出来る弁護士になりたいですね。

飯田 最後とっておきながら、もう一つ聞くけど、プライベートはどうするの??

廣野 あ、プ、プライベートですか。うーん……(しばらく沈黙、いま勉強を頑張っている相手が一段落ついたら結婚したいなあと。

飯田 そう(笑)。いま言ったことも記事にしちゃうけど、大丈夫だよ。この記事が最初のプロポーズの言葉になったのでは、私も責任重大なので。

廣野 大丈夫です。それについてはもう話をしていますから。

都心に比べ弁護士の数が少ない地方では、なんとなく仕事も多く、就職も簡単であるというイメージがありました。実態は決してそうではないようです。しかしながらそういった厳しい環境の中にあっても地元の著名事務所に就職し、バリバリ仕事をこなしている廣野さんの活

躍はとても頼もしく思いました。そういえば、神大ローの理念は地域密着系法曹の養成でしたね。在校生のみなさんも是非とも廣野さんに続く地域密着系法曹を目指していただきたいなあと感じました。

最後に、突然の訪問を快く迎え入れて下さった澤田法律事務所の木下先生、ご協力ありがとうございました。

以上